



「陰陽師と加古川」

前号に登場した安倍清明、蘆屋道満について、詳しくみていきます。

再び陰陽師が注目されてきています。フィギアスケーターの羽生選手がテーマにした「SEIMEI」でも有名となりました。少し前にブームとなったきっかけは、漫画家岡野玲子の『陰陽師』（全13巻）が大きな影響を与えているのではないのでしょうか。

時の舞台は平安時代、主人公は安倍清明あべのせいめいで、不思議な呪術を駆使し、怪異を退治するというストーリーです。主人公の安倍清明は実在した人物で、生まれは摂津阿倍野（現在の大阪市阿倍野区）です。加古川との接点

は、播磨守はりまのかみに任じられていることです。加古川線厄神駅の近くには、通称「セイメイさん」と呼ばれる石棺仏が安置されています。地元では、どんな病気でも治してくれる、霊験あらたなセイメイさんを大切に守っています。

さて、安倍清明のライバルとして登場してくるのが、悪役芦屋道満です。

芦屋道満は、加古川の岸村で生まれたとされています。生まれたとされる屋敷は、現在JR宝殿駅

北しょうがんじの正岸寺となっています。伝説では、芦屋道満は藤原道長の暗殺を請け負いますが、ライバル安倍清明に呪術を見破られて播磨に追放されてしまいます。

陰陽師2大スターが、加古川に関係するとはたいへん興味深いこととは思いませんか？

